

石川の伝統文化を今に伝える 金沢城公園

〔総合公園〕(国史跡『金沢城跡』)

公園の概要

- 所在地 金沢市丸の内ほか
- 開設面積 25.3ha
- 開園時間
[金沢城公園] 3/1～10/15 7:00～18:00
10/16～2/末 8:00～17:00
夜間開園(土曜日および指定日)
日没～21:00
- [菱櫓・五十間長屋・橋爪門続櫓・橋爪門・河北門・鼠多門]
9:00～16:30
- 問い合わせ先 金沢城・兼六園管理事務所
TEL.(076)234-3800
石川県土木部公園緑地課
TEL.(076)225-1774

主な施設

- [国指定重文] 石川門、三十間長屋、土蔵(鶴丸倉庫)
- [復元建造物] 菱櫓・五十間長屋・橋爪門続櫓
橋爪門、河北門、鼠多門
- [公園施設] 広場(二の丸、三の丸、新丸等)、
本丸園地、湿生園、玉泉院丸庭園など
- [休憩施設] 鶴の丸休憩館、玉泉庵

交通

JR金沢駅兼六園口(東口)より「城下まち金沢周遊バス」に乗り、「兼六園下金沢城」下車徒歩3分

〔復元建造物〕

- 菱 櫓…高さ約17mの三層の木造櫓。名前どおり全体がわずかに菱形になっており、柱や土台も菱形に加工されている珍しい櫓。
- 五十間長屋…二の丸を防御する城壁と倉庫の機能を兼ね備えた二層の長屋。金沢城には他にも四十間長屋、九十間長屋など多くの長屋が存在した。
- 橋爪門続櫓…二の丸を防護すると同時に橋爪門の防衛力を高める三層の櫓。規模は菱櫓よりやや小さく、高さ約16m。
- 橋 爪 門…三御門のひとつ。城の中核である二の丸に至る最後の門で最も格式が高かったとされる。石川門、河北門と同様の枳形門を形成している。
- 河 北 門…三御門のひとつ。金沢城の実質的な正門。一の門(高麗門)、二の門(櫓門)と土塀からなる。
- 鼠 多 門…2階建ての櫓門。他の門とは異なり、腰壁に黒い海鼠漆喰が用いられていることが特徴。



金沢城公園

加賀藩前田家の居城であった金沢城は、明治以降から終戦までは陸軍の拠点、その後は金沢大学キャンパスとして利用されてきました。大学移転に伴い、平成8年3月に跡地を取得し整備に着手、平成13年に供用を開始しました。

金沢城の貴重な歴史的文化遺産を後世に継承し、兼六園と並び県都金沢のシンボル公園として、また、本県の歴史・文化・伝統を継承する「象徴」として、歴史的建造物の復元などの事業を進めています。これまでに、菱櫓・五十間長屋、河北門、橋爪門等の復元、石垣修築、いもり堀や玉泉院丸庭園の整備、ライトアップ施設等の整備を進め、令和2年7月には鼠多門・鼠多門橋が復元整備されました。

現在は、加賀藩の政治・文化の中核であった二の丸御殿の復元整備に取り組んでいます。



▲菱櫓・五十間長屋・橋爪門続櫓



▲鼠多門・鼠多門橋



▲玉泉院丸庭園・玉泉庵

